日本共産党 中谷浩一県委員長に聞く

「総選挙の結果」

10月27日に投開票された総選挙では、読者や後援会のみなさんには大変お世話になりました。心よりお礼を申し上げます。

Q1）【衆議院総選挙の結果は？】

A1）自民党、公明党が「与党過半数割れ」となる歴史的大敗を喫し、国民の厳しい審判が下りました。これは国民による自民党政治に代わる新しい政治の模索の始まりです。

日本共産党の後退は残念ですが、この激動を生み出すうえで、日本共産党が自民党の裏金問題や裏公認問題を暴露して、たたかってきたことは決定的な役割を果たしました。この激動の情勢の下で、企業団体献金の禁止をはじめさまざまな要求にどうこたえていくかが各党に求められます。日本共産党は、こうした願いにこたえる政策と活動を進めてきた党として、さらにみなさんと一緒に頑張る決意です。

Q2）【香川での結果は？】

A2）全国的には議席と得票を減らしましたが、直近の国政選挙である2022年の参院選挙とくらべると、香川県党は、1万5030票（得票率3・88％）から1万6165票（3・96％）となり、後退から前進への道を開きました。

国政選挙で勝利できる党になっていくためには、さらに支部や後援会のみなさんの声に耳を傾け、たたかいに生かしていきたいと思います。

Q3）【総選挙後の展望は？】

A3）これから総選挙でかかげた、清潔な政治をつくることや、暮らし、平和をまもるために、みなさんとさらに力をあわせて奮闘します。また、共産党や後援会をいっそう強く大きくして、7月の参院選挙の勝利を目指して頑張る決意です。

四国ブロック比例

	議席数	得票数	得票率
自民	3	479,835	31.00%
立民	1	280,385	18.10%
国民	1	234,339	15.10%
公明	1	196,765	12.70%
維新	0	103,237	6.70%
れいわ	0	95,973	6.20%
共産	**0**	**88,224**	**5.70%**
参政	0	44,127	2.90%
社民	0	24,361	1.60%

	得票数	得票率		得票数	得票率
高松市	7,734	4.32%	坂出市	826	3.64%
小豆島町	355	5.16%	丸亀市	1,644	3.70%
土庄町	324	4.74%	善通寺市	490	3.81%
三木町	501	4.09%	観音寺市	857	3.79%
さぬき市	681	3.16%	三豊市	972	3.74%
東かがわ	423	3.13%	琴平町	133	3.71%
直島町	48	3.34%	まんのう	239	3.34%
			多度津町	358	4.00%
			宇多津町	236	3.19%
			綾川町	344	3.08%
東部合計	**10,066**	**4.17%**	**西讃合計**	**6,099**	**3.65%**

県　合計	**16,165**	**3.96%**

小選挙区

選挙区	候補者		得票数	得票率
1区	たなべ健一	落	5,646	3.51%
2区	石田まゆ	落	6,466	4.78%
3区	ささい孝志	落	5,166	4.55%

気候変動とエネルギー転換

②「1・5度目標」＝世界の気候目標

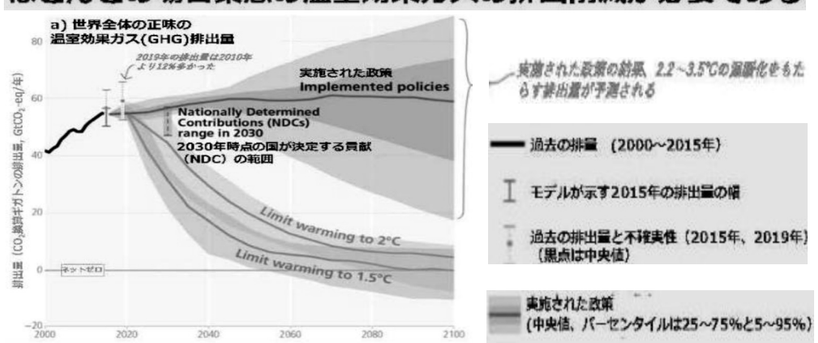
柏 秀樹（自然エネルギー100％社会学習会代表）

今年8月末～9月1日、台風10号は日本各地に土砂崩れなどの大きな災害をもたらしました。この「台風10号クラスの台風の発生確率は、地球温暖化によって26％高くなった」「九州付近を通過する台風の最大風速は、温暖化の影響によって7・5％強くなっている可能性がある」と英国の研究チームが報告しています。（毎日新聞2024・8・30）

このように、私たちの日常生活は、すでに地球温暖化の影響を大きく受けています。そして地球温暖化の原因が人間活動であることは、「疑う余地がない」とされています（IPCC＝国連気候変動に関する政府間パネル『第6次評価報告書 統合報告書』2023・3・20）。人間による温室効果ガス（二酸化炭素・メタン・フロンなど）の排出によって温暖化が起きているのです。

地球温暖化の進行を抑えて地球の気候を安定させるために、世界は協力して「地球の平均気温上昇を産業革命期（1850～1900年）から1・5度上昇よりも低く抑える」ことで合意しました（グラスゴー気候合意：2021・11）。この「1・5度目標」を達成するために、世界全体で温室効果ガス排出量をどのくらい減らすべきなのか？上述IPCC報告書は、温室効果ガスを2030年までに43％（2019年比）、35年までに60％（同）削減することが必要としています。この「2035年までに2019年比60％削減」は、昨年のCOP28（国連気候変動枠組条約第28回締約国会議）で世界が合意した新たな削減【4面につづく】

温暖化を1.5℃と2℃に抑えるには、急速かつ大幅で、ほとんどの場合緊急の温室効果ガスの排出削減が必要である



全国的に学校の統廃合、公共施設の集約と民間委託が進められており、坂出市も同じ方向に進んでいます。議会でその問題点を指摘しているのは共産党だけです。議会の論戦にとどめず、市民の中から公共施設の集約化反対、民間委託反対、図書館を残せという運動をおこしていこうと話し合っています。学校統廃合についても今年度に学校の平面図が出され保護者の意見を反映する現在は準備の段階です。

坂出市では具体的に、令和10年の秋までの駅前拠点施設・緩衝緑地再整備や、11年度に学校統廃合による小中一貫校開校を押し進めています。「公共施設」の建設、維持管理、運営を「民間」の資金、経営能力などを活用して進めるやり方です。

坂出大橋記念図書館を駅前拠点に全面移転する、坂出勤労福祉センターもなくし、駅前施設に集約化することが6月議会で明らかになりました。「公共施設の維持管理・補修に多額の財政負担が生じる」というのが集約化の理由です。さらに人口減対策として若い世代に選んでもらう街にしていくための魅力ある街づくりのために駅前拠点施設や緩衝緑地にカフェや可能なコミュニティ拠点施設、子どもの遊び場などを整備するとしました。

これらに対して私は6月議会で「図書館を直営で残す事」や、「公共施設を集約化し、民間委託するのでなく、文化活動を公的に支えること」を求めました。

「公共施設を残せ」という指摘をめぐって6月議会では街づくりについて有福哲二坂出市長と少しですが論戦をおこないました。「街づくりを考えるとき、中心部だけでなく周辺の市民の声を市政に反映すること、地域の産業の活性化が大切なのではないか。9月議会で住みやすい街づくりについて提案していく」と主張しました。ひきつづき問題点を指摘し、改善を求めていります。

シリーズ

「わが町は今」

坂出市議　篠原光一市議